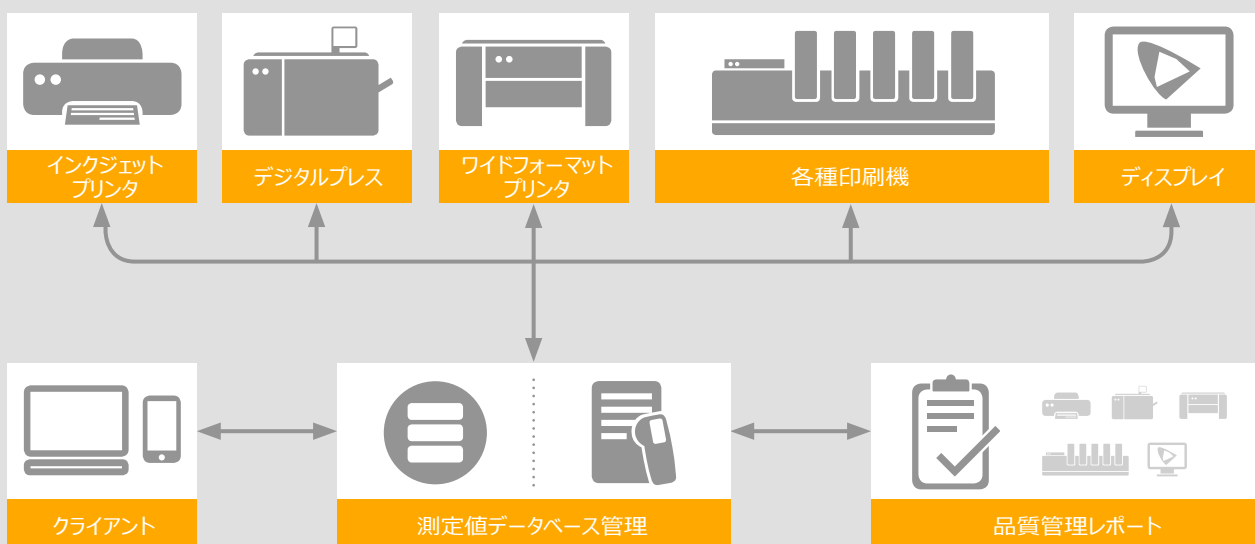


ORIS CERTIFIED // WEB

シンプルかつ柔軟なクオリティコントロールシステムによる色認証が印刷標準化を効果的にお手伝いします



なぜブルーフに色認証が必要なのか：

正確にCertifid（サーティファイド / 認証）されたシステムなら…

- トラブルのない、スムーズな印刷ワークフローを実現
- 印刷の標準化でコスト削減と収益力向上を実現
- クライアントの信頼向上と新たなビジネスチャンスを創出

● 柔軟な基準値設定

ブルーフのターゲットとする基準値には、さまざまな値が設定できます。FOGRAやSWOPのほか、JapanColor2011やJMPAなどの日本の業界標準値も設定可能です。さらに、測色器でカラーバーを読み込むなど各社オリジナルの基準値設定も可能です。これらは出力機やジョブ、クライアント、基準値毎に設定を登録できるため、一度設定してしまえばスムーズに運用することができます。

● ブルーフの測色は1分程度

ブルーフの正確性を検証するには、i1などの測色器を用いてブルーフに印字される小さなカラーバーを読み込みます。カラーバーは数十パッチですから、1分もかからず読み込みます。分光光度計を内蔵したプリンタであれば、自動で測定できるのでさらにスピーディーに作業できます。測定後、ソフトウェアが基準値の許容範囲内かどうか自動で計算してレポート表示します。

● 測定結果をさまざまな角度から検証可能

レポート表示画面では、チャート内の各パッチの基準値と測定値、 ΔE 、 dL 、 da 、 db の値が表示され、より詳細な検証が可能です。また、測定データは自動的にログとして保存されるため、「分析」機能を使えば同じ基準値設定での色差の推移なども折線グラフで確認できます。許容値を外れる前に再度プリンタのキャリブレーションを行う、といった運用も可能です。

● WEBブラウザを閲覧して色認証情報をどこからでも共有

ブルーフや印刷物の測定した結果をサーバーにアップロードすることで、社内から取引先の関係者まで同じ仕事に携わる方が色認証状況をWEBブラウザで確認することが出来るようになります。

● WEBブラウザで閲覧した必要なデバイスの認証結果を必要な形式でレポート化

ORIS Certified // Web で作成された色認証情報は即時にアップロードされサーバー上でデータベース化されます。閲覧者は必要とする色認証情報をデバイス、ジョブや事業所単位など多彩なレポート作成を行えます。

ORIS CERTIFIED // WEB

シンプルかつ柔軟なクオリティコントロールシステムによる
色認証が印刷標準化を効果的にお手伝いします



■ Certified // Web 機能一覧

評価機能・認証基準一覧			ORIS Certified // Web
L*a*b* 測定評価機能			●
濃度測定評価機能			●
標準認証	FOGRA V2 (14種類)		●
	FOGRA V3 (26種類)		●
	IDEAlliance GRACoLCoated1		●
	IDEAlliance SWOPCoated3		●
	IDEAlliance SWOPCoated5		●
	3DAPv3 PAPERTYPE-1 300		●
	3DAPv3 PAPERTYPE-3 280 F45		●
	3DAPv3 PAPERTYPE-4 270 F47		●
任意認証	JapanColor2011Coated		●
	基準値登録		●
	許容値登録	※1	●
	ターゲットカラー登録	※2	●
特色認証	基準値登録		●
	許容値登録		●
	ターゲットシングルパッチ登録		●
色差公式	ΔE		●
	ΔE 94		●
	ΔE 2000		●
	ΔE CMC 2 : 1		●
認証ラベル機能	※3		●
評価レポート表示及び印刷機能	※4		●
統計レポート表示及び印刷機能	※4		●
ORIS Color Tuner // Web 連動	※5		●
対応分光光度計			ORIS Certified // Web
X-Rite	i1Pro, i1Pro2		●
	i1iO, i1iO2		●
	i1iSis		●
	iCColor		●
	DTP20 PLUSE		●
	DTP41		●
	DTP45		●
	DTP70		●
EPSON	SpectroProofer	※3	▲
TECHKON	RS800		●
	SpectroJet		●
	SpectroDrive		●
	SpectroDens		●
Konicaminolta	FD-7/FD-5		●
	FD-7/FD-5 with ColorScout A+		●
対応ラベルプリンタ			ORIS Certified // Web
DYMO	Labelwriter シリーズ	※6	●
EPSON	PX-Hシリーズ / SC-Pシリーズ	※3	●

※1 パッチ毎の個別設定が可能
※2 ターゲット測定値の平均化が可能
※3 ORIS Color Tuner // Web 連動時のみ対応可

※4 Windowsプリンタドライバ経由にて出力可能
※5 別途 ORIS Color Tuner // Web が必要
※6 対応ラベルサイズは89mm x 36mm に限定されます

■ 推奨スペック -Microsoft® Windows®-

CPU	Microsoft® Windows® 7 Professional 以降に対応しているCPU
メモリ	500MB 以上のRAM
HDD	100GB 以上の空き領域
通信ポート	USBポートx2 (ラベルプリンタ・分光光度計接続用)
光ストレージ	DVDマルチドライブ (ソフトウェアインストール用)
対応OS	Microsoft® Windows® 7 Professional
	Microsoft® Windows® 8 Pro
	Microsoft® Windows® 8.1 Pro
	Microsoft® Windows® 10 Pro
	Microsoft® Windows® 2008 Server

■ 推奨スペック -Apple Macintosh -

CPU	MacOS 10.2.8以降に対応しているCPU
メモリ	500MB 以上のRAM
HDD	100GB 以上の空き領域
通信ポート	USBポートx2 (ラベルプリンタ・分光光度計接続用)
光ストレージ	DVDマルチドライブ (ソフトウェアインストール用)
オペレーティングシステム	Apple Mac OS X 10.2.8以降

■ ラベルに出力されるデータ

基準値	テンプレート名 (事前に比較するターゲットを設定しておきます)
ブルーフ	ブルーフ管理者名
担当者	比較測定者名
ジョブ名	任意のジョブ名 (顧客名等を設定可能)
プリンタ	出力ブルーフ名 (プリンタ名等)
紙色ΔE	ターゲットとの紙白色差 (事前に色差許容値設定可能)
平均ΔE	平均色差 (事前に色差許容値設定可能)
最大ΔE	最大色差 (事前に色差許容値設定可能)
純色ΔE	CMYK のベタ色の最大色差
CMY グレーの平均ΔH	グレー色の平均色相差
基準	基準値ファイル名
サイン	ブルーフ責任者サイン欄
Data	日付
右上	評価結果が全て許容範囲内の場合、✓ のチェックマーク 許容範囲外の場合、! のチェックマークを印字。

※カタログに記載された内容は、技術改善等により予告なく変更する場合がございますがご了承ください。
※会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。
※Microsoft®、Windows®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
※Windows®の正式名称は Microsoft Windows Operation System®です。
※Apple、Mac OS Xは、Apple Computer Inc.の登録商標または商標です。
※本製品に関するお問い合わせ及びサポート、カタログ記載については、国内限定とさせていただきます。

※このカタログは2017年3月現在のものです。